

ふじの山岳会 ニュース

2018年5月号

◆5月定例会報告◆

藤野山岳会の例会は5月10日(木)19:00~20:30 藤野開発事務所にて開催されました。

出席者は5名でした。(遠藤勝・小池栄・佐藤忠・杉本憲・真屋)

※6月の例会のお知らせ 6月7日(木) 於:藤野開発 PM7:00~8:30

▲▲▲藤野山岳会 30 年前期山行報告▲▲▲

4月 5日(木) 鍋割山(丹沢) 参加者:小池2・遠藤享・春田・山崎信 5名

▲▲▲藤野山岳会これからの山行等予定▲▲▲

5月17日(木) 越前岳(裾野市) 6月21日(木) 甘利山(山梨)

5月28(月)~29日(火) 戸隠・妙高方面山菜取りハイク(ペンション樹らら宿泊)

※以上の山行等に参加希望の方は「小池」までご連絡ください!!

◆事業報告◆

<藤野山岳会・トレイル関係>

●4月22日(日)第10回東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース無事終了

第10回東丹沢宮ヶ瀬トレイルレースは清川村宮ヶ瀬園地に於いて開催され、事故も無く無事に終了いたしました。当日は暑いくらいの晴天で、熱中症多発が危惧されましたが参加者は元気にゴールしていました。当日は516名が出走し完走者は502名、完走率は97%でした。

(出席10名:杉本憲・和泉・野崎2・田村・市川・加藤博・井上力・杉本岳・佐藤洋)

●5月13日(日) 第10回道志村トレイルレース無事終了

第10回道志村トレイルレースは道志村村民グラウンドに於いて開催されました。残念ながら天候に恵まれず途中から雨模様となりましたが、大きな事故も無く無事に終了いたしました。

(出席12名:大曾根・杉本憲・和泉・佐藤忠・井上佳・横山・井上力・杉本岳・加藤博・浅野・関根2)

◆事業計画◆

各事業に多くの参加をお願いします

◆6月17日(日) 国道20号線クリーン活動 AM10:00~12:00

当日は吉野花だまりに現地集合・現地解散となります。

参加予定者:杉本・荒井・遠藤勝・山崎昌・岸・小林・横山・和泉・佐藤忠・林・真屋夫妻・春田

◆6月23日(土) 名倉クライミング教室 AM10:00~12:00

当日は名倉グラウンドに現地集合・現地解散となります。参加予定者:井上佳・井上力

◆7月8日(日) 第20回北丹沢12時間山岳耐久レース

参加予定者:杉本・遠藤勝・山崎昌・岸・小林・横山・和泉・佐藤忠・林・井上佳・野崎夫妻

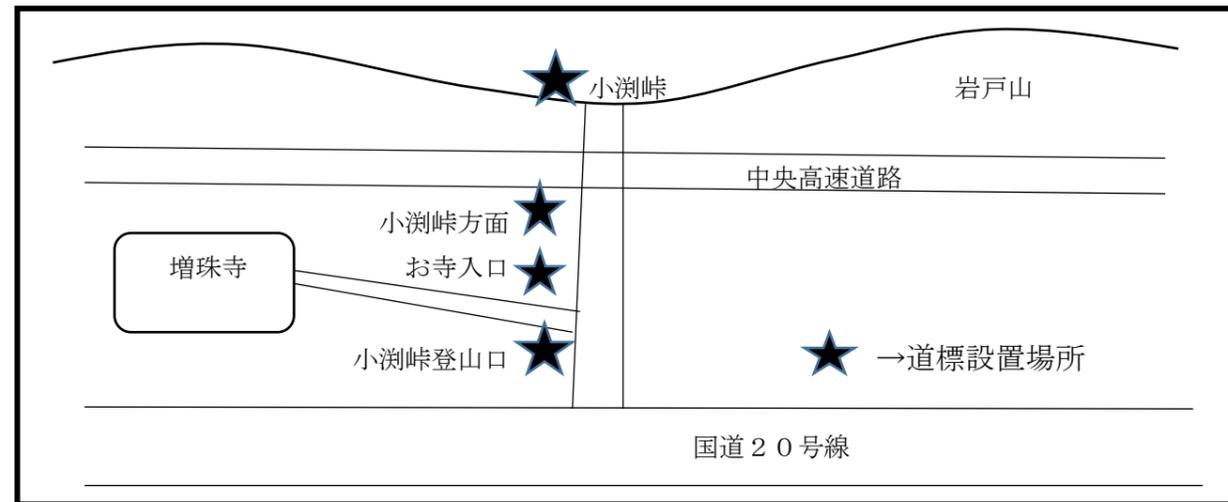
小池夫妻・真屋夫妻・山方・遠藤享・山崎信・春田

◆8月11日(祝)神奈川山岳連盟主催「山の日」大山(伊勢原市)

阿夫利神社の祭典に参加・貸し切りバスの運行を予定しています。

参加予定者:杉本・遠藤勝・小林・和泉・佐藤忠・春田

◆5月~6月中に小淵峠へ道標を設置致します。参加者募集兼ねて予定の小淵関野より小淵峠への道標を設置します。会員の皆様、設置にご協力ください。峠にまつわる話は山岳センター発行の本「ふじの峠」(販売中¥200)に紹介されています。



小淵峠 (おがもろげ) 約三〇〇肩

峠に風が吹き抜けると、下草の笹がソヨソヨと優しい音をたてる。北面は杉やヒノキが茂り暗く、南面は雑木で明るい。かつてにぎわったであろう峠道には草が生い茂り、歩く人の姿はない。小淵峠である。峠は小淵山と岩戸山との中間鞍部。沢井川の集落、日野と昔の宿場、関野を結んでいた。岩戸山は、藤野の山から丹沢の山並みまで眺められる展望の広い山。一方、小淵山は杉や雑木に覆われ展望はない。下草の多い山だが、山頂だけは草がない。この山をとりまく上小淵、下小淵、関野の三集落では、山頂が、かつて疫病で亡くなった人の共同火葬場だったという。

と見つめてきただろうに何も語ってくれない。

この峠道近くにも悲しい伝承がある。「あまいぬ」と呼ばれた犬の怪物。昔、月もなく木枯らしが吹く寒い冬の晩のこと。日野の集落から関野の集落に向かう花嫁の行列があった。峠にさしかかったころ、無気味な風が吹くと同時に行列の持つていた灯が突然消えてしまった。そこにスーと現れたのが「あまいぬ」恐怖におびえる花嫁を小脇に抱えると、音もなく暗やみの山の中に消えてしまった。一瞬のできごとに行列の人たちはびっくり仰天。なすすべもなかった。その後、村人たちは総出で山狩りをやったが、「あまいぬ」や花嫁の姿はもろろんのこと、その跡さえも見つけることはできなかった。いつしか村人は、この峠道を「あまいぬ」に因んで「あまどうり」と呼ぶようになった。その後は、婚礼はこの道を二度と通ることはなかったという。

「あま」とは娘のこと。峠近くには「犬沢」や「犬走り」と呼んだところもあるという。

峠道を衰退させたのは沢井隘道の開発だと思ふ。人影のない峠はわびしい。

藤野駅から岩戸山を経由して、約一時間で峠。

遭難事故→

4月29日

読売新聞より
転載記事です

袖平山遭難男性 6日ぶりに救助

相模原市緑区青根の袖平山の山中で28日午後、登山に出たまま連絡が取れなくなったという東京都葛飾区の男性39歳が6日ぶりに救助された。

津久井署などによると、男性は22日未明、「丹沢に登山に行く」と言って家を出たまま戻らず、家族が警察に届け出た。28日午前、歩けない状態の男性を民間の救助隊員が見つけた。手足を骨折しているが命に別条はないという。「沢から転落した」と話し、持参したわずかな食料で空腹をしのいでいたという。

県山岳連盟の杉本憲昭副会長(78)は「現場付近は遭難事故が多発している険しい場所。連休中も多くの登山客が予想され、無理な行動は避けてほしい」と注意を呼び掛けている。

